

公表:平成 31 年 2 月 25 日

事業所名 あんあんclass東光ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を 踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			必要な物以外は置かずスペースの確保の配慮しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切な基準であると考えています。	適切な環境・体制維持に努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか			○		振りかえりに力を入れたいです。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				公開していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○				今後、検討していきたいと思っています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				職員のスキルアップのための研修を推進して、支援の充実に努めます。
適切な 支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○				
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか			○		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				毎月のミーティングで内容の話し合いを設けている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか			○		毎日の活動内容を記載し、活動前に内容が把握できるようにしていきたい。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○		短時間でも設けるようにしていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○		医療的ケア等の児童がいないが知識としては把握しておきたい。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○		医療的ケア等の児童がいないが知識としては把握しておきたい。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				今後、検討確認していきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				今後、検討確認していきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				今後機会を設け、関係機関との連携を図ります。

	②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				参加の継続
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				送迎時、連絡ノートの活用
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○		今後、検討確認していきます。
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				契約書・重要事項説明書を用いて行っている。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				電話連絡・個人面談等において必要な支援を実施している。
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				○	行事への参加は継続し、保護者間の情報交換が出来るよう取り組んでいきます
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				迅速な対応を心掛けています。
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				定期的実施していきたい。
	③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				今後も十分に注意していきます。
	③⑲ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	○				
	非常時等の対応	④① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			
④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○				訓練の実施をしています。
④③ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		○				

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				継続していきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			毎月、研修の実施	継続していきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

|

公表:平成 31 年 2 月 25 日

事業所名 あんあんclass東光ルーム

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			必要な物以外は置か ずスペースの確保の 配慮しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切な基準であると 考えています。	適切な環境・体制維持に努 めます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配 慮が適切になされているか	○				
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○			振りかえりに力を入れたい です。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホー ムページ等で公開しているか		○			今後ホームページでの公開
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか		○			
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○			毎月実施	今後も継続していく
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後 等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		個々に案を出し合い 検討している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫してい るか	○				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細 やかに設定して支援しているか	○			内容はその都度検討し ている。特に、長期休み は外出行事を取り入れ ている。	毎回楽しめるように計画を しつく
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を 作成しているか	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その 日行われる支援の内容や役割分担について確 認しているか		○		進行役・記録当の役 割は決めて行なっ ている。	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		報告は行なっている。	短時間でも情報の共有が出来るようにしていきたい。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○			
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			受け入れについては難しい。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○			

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡ノート・送迎時の報告・定期的な面談で実施	
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○			親子遠足・茶話会等の保護者同士の交流の場を設けていきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④⑰	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
	④⑱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	④⑲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				
	④⑳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。